医療安全と質を保証する患者状態適応型パス(PCAPS)

H21 年度　PCAPS 研究会　中間シンポジウム

PCAPS 電子コンテンツの活用事例とその可能性

ーコンテンツの利用者･活用目的からみた PCAPS 電子コンテンツの整備戦略ー

(H21 年度　厚生労働科研　がん臨床研究(質評価指標開発研究:飯塚班) 中間報告含む)

プログラム

日時：2009 年 9 月 26 日(土)　10:00～17:00 終了予定　(途中昼休憩１時間)

会場：東京大学本郷キャンパス　工学部２号館２１３号室

はじめに

近年，ITを活用したコンテンツサービスが，ビジネスとしてもまた社会インフラとしても重要になってきている．インターネット･テレビ等からあふれるように提供されるコンテンツには，娯楽･芸術的なコンテンツが多数であり，その品質には多様な課題が存在すると思われる．これらコンテンツによって一時的な幸福･安寧をもたらす効果はたしかにある．しかしながら，人々の幸せのための，社会基盤を構築するための「知識コンテンツ」といった視点からの整備は遅れている．提供される良質の知識コンテンツを，仕事や生活で活用することによって，専門職や国民が賢くなっていくような知識コンテンツと，それらの活用システムの開発が求められているといえないだろうか．

そのような知識コンテンツには，その活用による仕事の生産性の向上と，高品質なOJTを実現できる学習性が要求されると考えられる．臨床知識構造化手法PCAPSが開発する**PCAPS電子コンテンツは，繰り返し使うことによってヒトが賢くなっていくような知識コンテンツとして設計･開発**されている．本シンポジウムでは，2009年度に電子コンテンツとして開発されている多様なPCAPS臨床知識コンテンツと，価値ある活用事例について，中間成果として報告する．

2009 年 9 月 26 日

PCAPS 研究会　代表：飯塚悦功
副代表：水流聡子・棟近雅彦

※PCAPS (Patient Condition Adaptive Path System：患者状態適応型パス)

主催：PCAPS 研究会

午前の部

司会：棟近雅彦(早稲田大学)・水流聡子(東京大学)

10:00-

開会の挨拶：PCAPS 研究会のねらい　　飯塚悦功　(東京大学)

10:10-

Ⅰ：臨床知識コンテンツの活用：患者状態適応型パス(PCAPS)統合化システム開発プロジェクト報告

- 臨床知識コンテンツのねらい　　水流聡子 (東京大学)
- PCAPS 統合化システム開発計画　　PCAP-IMT コンソーシアム
  - PCAPS-Builder　　(株)サイバーラボ
  - PCAPS-Administrator　　京セラコミュニケーションシステム(株)
  - PCAPS-Analyzer　　(株)竹中工務店/技研商事インターナショナル(株)

10:50-

Ⅱ：PCAPS コンテンツによる臨床知識の構造化

(領域別報告)

- 腎臓内科　　藤井直彦 (兵庫県立西宮病院)
- 神経内科 (脳梗塞急性期･慢性期)　　福田賢治 (聖マリア病院) ／進藤晃 (大久野病院)
- 泌尿器科 (化学療法)　　永江浩史 (聖隷三方原病院)
- 呼吸器外科 (肺腫瘍切除)　　矢野真 (武蔵野赤十字病院)
- その他の領域の状況　　水流聡子 (東京大学)
- 全体討論

～･～

12:00-13:00　昼休み

～･～

飯塚悦功・水流聡子・棟近雅彦監修　　患者状態適応型パスシステム研究会編著

『医療の質安全保証を実現する患者状態適応型パス [電子コンテンツ　2008 年版]』(日本規格協会)

定価：本体 4300 円(税別)

午後の部

司会：水流聡子(東京大学)・棟近雅彦(早稲田大学)

13:00-

III：PCAPS フォーラム「PCAPS コンテンツの運用事例」

- 脳外科「紙ベースによるプロスペクティブなケース適用」
  司会進行： 名取良弘 (飯塚病院)
  1) 電子データから紙ベースパスへの変更　水野良美 (飯塚病院)
  2) 臨床試用から見えた問題点　佐野美和子 (飯塚病院)
  3) 実装に向けての課題　渡辺恵理子 (飯塚病院)
- 訪問看護「過去データを用いたレトロスペクティブなケース適用」
  佐野袈裟美 (スギメディカル株式会社)
  松木満里子 (Accommo.Care Service 株式会社)
  山崎潤子 (緑が丘訪問看護ステーション)
  棚橋さつき (桐生大学短期大学部 看護学科)
  山路聡子 (群馬県看護協会 訪問看護ステーション)
- 呼吸器内科 COPD チーム (招待メンバー限定)・・・別会場211 号室
  茂木孝 (日本医科大学呼吸ケアクリニック)
  堀江健夫 (前橋赤十字病院)

14:20-

IV：研究開発への応用

- 小児心疾患実態調査　藤原優子 (慈恵医科大学病院)
- 生体肝移植　田中紘一・山田貴子・中田知廣 (神戸先端医療センター)

～・～

15:20-15:30　休憩

～・～

15:30-

V：厚生労働科研報告

- 国民に提供するがんコンテンツ (若尾班)
  - がん診療の標準化を目指す PCAPS がんコンテンツ　水流聡子 (東京大学)
- がん臨床質評価指標の開発 (飯塚班)
  - 大腸がん　吉岡慎一 (兵庫県立西宮病院)
  - 前立腺がん　吉井慎一 (日立水戸総合病院)
  - 乳がん　青儀健二郎 (四国がんセンター)
  - 頭部がん　名取良弘 (飯塚病院)

16:50-

VI：全体のまとめ

飯塚悦功 (東京大学)

17:00 (終了予定)

【シンポジウム会場】
本　会　場　：東京大学本郷キャンパス　工学部２号館２１３号室
研究会メンバー用昼食会場：工学部２号館２階　セミナー室１，３，４号室
関係者懇親会会場：フォーレスト本郷内　ルヴェソンヴェール

シンポジウム運営組織

代表	飯塚悦功(東京大学)	
副代表	水流聡子(東京大学)，棟近雅彦(早稲田大学)	
運営 スタッフ	＜PCAPS 事務局＞ 加藤　省吾(東京大学) 金子　雅明(早稲田大学) 小柴　研一(東京大学　共同研究員) 黒田　幸清(東京大学　学術支援専門職員) 佐藤　典子(東京大学　学術支援専門職員)	佐野　雅隆(早稲田大学博士課程) 下野　僚子(東京大学博士課程) 藤井　健人(東京大学修士課程) 吉田　隆宏(東京大学修士課程) 大室　陽(早稲田大学修士課程) 伊藤　岳大(東京大学修士課程) 原田　美沙子(東京大学修士課程) 尾方　優花(東京大学工学部) 杉辺　瑠美子(東京大学工学部)

問い合わせ先：
PCAPS 事務局
E-mail：Office_PCAPS@umin.ac.jp
TEL：03-5841-7301　FAX：03-5841-7276
本研究事業HP：http://plaza.umin.ac.jp/~A-epath/index.html

注意：カメラ撮影はご遠慮ください。PCAPS は各種特許申請済みです。